

じゅん菜池と周辺で記録された鳥

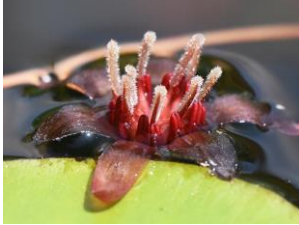
・・・ジュンサイを残そう市民の会／会長：禿雅子・・・

千葉県市川市中国分4-27、自然環境ゾーン内／動植物保護保全地区（水草・水生生物の保護育成活動）

作成：2023年6月

田中直義、井上禎二郎、井谷暢之、徳永美澄、上田恵、鈴木美智代、

金子謙一、大貫和己、中谷利秋、坂本玲子、牛島千津子、宮城直。



ジュンサイの花

撮影：2019.06.25. 田中直義



オニバスの開放花

撮影：2022.08.08. 井上禎二郎



ガガブタの花

撮影：2022.08.14. 井谷暢之



紅葉

撮影：2021.11.30. 徳永美澄

■レッドデータ表示：千葉県2019年／環境省2021.



キジ科：PHASIANIDAE

001.キジ♂

Phasianus colchicus Linnaeus,1758

1990年代まで堀之内貝塚前で見られた。

撮影：2013.04.01.江戸川河川敷,里見公園下：田中直義

千葉県：—／環境省：LC 低絶滅危惧



キジ科：PHASIANIDAE

002.コジュケイ（大正時代に中国から移入。）

Bambusicola thoracicus (Temminck, 1815)

1980年代まで「チョトコイ」の鳴き声を聞くことができた。

一見では♂♀が見分けがたい。

撮影：2018.04.03. 印旛郡栄町：上田恵

RD：—



カモ科：ANATIDAE

003.ヒシクイ

Anser fabalis (Latham,1787)

2006年1月にも下矢切の江戸川河川敷に飛来したが、亜種オオヒシクイであった可能性が大きい。

撮影：2017.12.28.宮城県蕪栗沼：田中直義

千葉県：X 消息不明・絶滅生物／環境省：—



カモ科：ANATIDAE

004.オシドリ♂

Aix galericulata Linnaeus,1758

近年飛来するようになった。

撮影：2018.11.24.じゅん菜池：田中直義

千葉県：B 重要保護生物／環境省：DD 情報不足



カモ科：ANATIDAE

004.オシドリ♀

Aix galeorivulata Linnaeus,1758

♂に比べるとかなり地味。

撮影：2018.11.24.じゅん菜池：田中直義

千葉県：B 重要保護生物／環境省：DD 情報不足



カモ科：ANATIDAE

005.オカヨシガモ♂(奥)♀(前)

Anas strepera Linnaeus,1758

毎冬年飛来している。

撮影：2017.12.30.じゅん菜池：田中直義

千葉県：C 要保護生物／環境省：—



カモ科：ANATIDAE

006.ヨシガモ♂(右)♀(左)

Anas falcata Georgi,1775

冬になると時々飛来する。

撮影：2020.04.04.じゅん菜池：田中直義

千葉県：B 重要保護生物／環境省：—



カモ科：ANATIDAE

007.ヒドリガモ♂(左)♀(右)

Anas penelope Linnaeus,1758

毎冬飛来している。

撮影：2014.02.09.じゅん菜池：田中直義

RD：—



カモ科：ANATIDAE

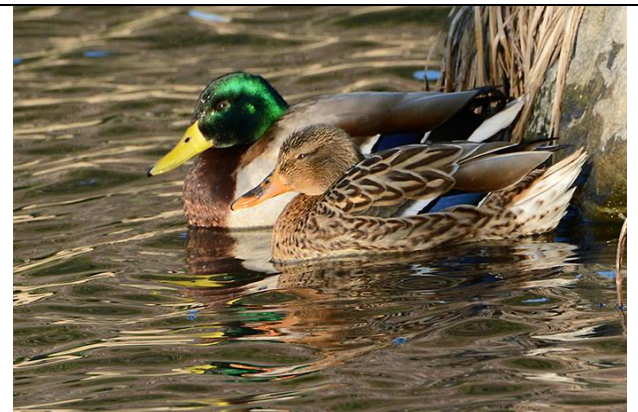
008.アメリカヒドリ♂

Anas americana Gmelin,1789

毎冬飛来している。

撮影：2020.11.12.じゅん菜池：田中直義

RD：—



カモ科：ANATIDAE

009.マガモ♂(奥)♀(前)

Anas platyrhynchos Linnaeus,1758

毎冬飛来している。

撮影：2016.02.07.じゅん菜池：田中直義

RD：—



カモ科：ANATIDAE

010.カルガモ♂♀

Anas zonorhyncha Swinhoe,1866

通年観察される。

撮影：2015.03.11.じゅん菜池：田中直義

RD：—



カモ科：ANATIDAE

010.カルガモ♀親子

Anas zonorhyncha Swinhoe,1866

子育て中。雛は9羽。

撮影：2021.06.02.じゅん菜池：田中直義

RD：—



カモ科：ANATIDAE

011.ハシビロガモ♂I(奥)♀(前)

Anas clypeata Linnaeus,1758

池ができた時から毎冬飛来している。

撮影：2014.01.31.じゅん菜池：田中直義

RD：—



カモ科：ANATIDAE

012.オナガガモ♂(奥)♀(前)

Anas acuta Linnaeus,1758

毎冬飛来している。

撮影：2014.01.24.じゅん菜池：田中直義

RD：—



カモ科：ANATIDAE

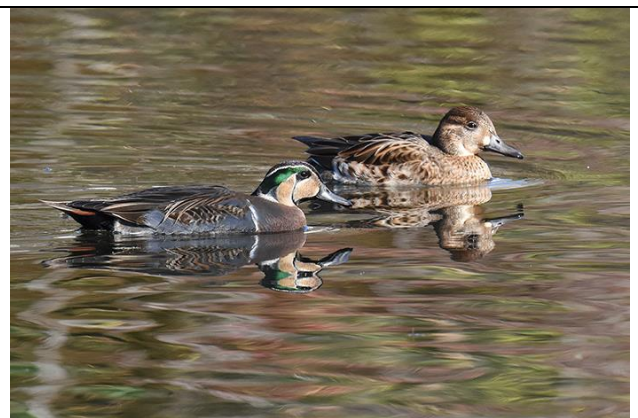
013.シマアジ♂

Anas querquedula Linnaeus,1758

2001年、2006年に飛来した。

撮影：2021.08.13.市川市：鈴木美智代

RD：—



カモ科：ANATIDAE

014.トモエガモ♂(左)♀(右)

Anas formosa Georgi,1775

時々飛来する。最近においては2021年12月に飛来。

撮影：2021.12.01.じゅん菜池：田中直義

千葉県：B 重要保護生物／環境省：VU 絶滅危惧I類



カモ科：ANATIDAE
015.コガモ♂(左)♀(右)
Anas crecca Linnaeus,1758
毎冬飛来している。

撮影：2017.03.03.じゅん菜池：田中直義

RD：—



カモ科：ANATIDAE
016.ホシハジロ♂
Aythya ferina Linnaeus,1758
毎冬飛来している。

撮影：2014.02.01.じゅん菜池：田中直義

RD：—



カモ科：ANATIDAE
016.ホシハジロ♀
Aythya ferina Linnaeus,1758
毎冬飛来している。

撮影：2015.11.16.じゅん菜池：田中直義

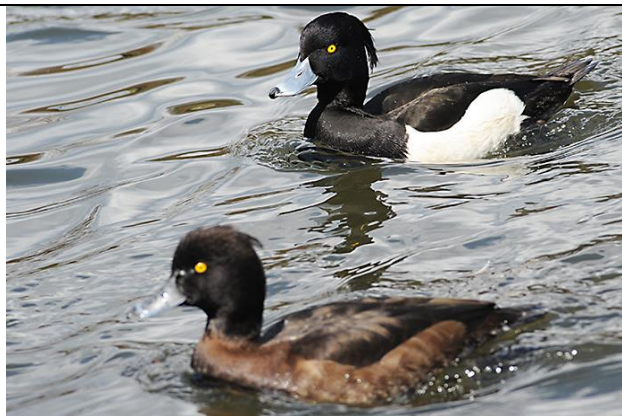
RD：—



カモ科：ANATIDAE
017.ホシハジロ×アカハジロ：♂
Aythya ferina (Linnaeus,1758)×*Aythya baeri* (Radde,1863)
ホシハジロとアカハジロの交雑個体。

撮影：2021.11.24.じゅん菜池：田中直義

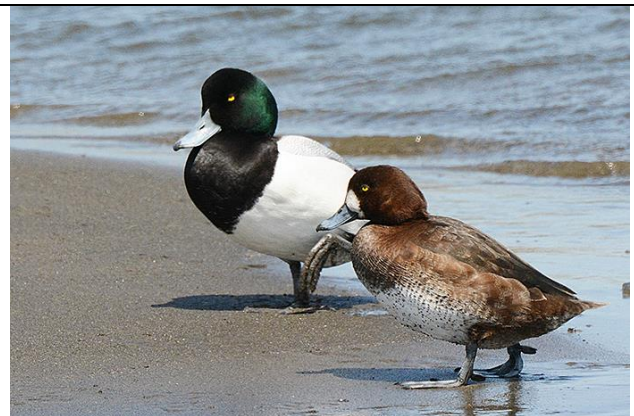
RD：—



カモ科：ANATIDAE
018.キンクロハジロ♂(奥)♀(前)
Aythya fuligula Linnaeus,1758
毎冬飛来している。

撮影：2012.03.25.じゅん菜池：田中直義

RD：—



カモ科：ANATIDAE
019.スズガモ♂(奥)♀(前)
Aythya marila (Linnaeus,1761)
2000年12月1日に飛来。

撮影：2016.04.15.葛西臨海公園：田中直義

千葉県：D 一般保護生物／環境省：—



カモ科：ANATIDAE

020.コスズガモ♂

Aythya affinis (Eyton,1838)

2014, 2015 年に飛来した。

撮影：2014.02.07.じゅん菜池：田中直義

RD：—



カモ科：ANATIDAE

021.ミコアイサ♂

Mergellus albellus (Linnaeus,1758)

2014-2016 年に飛来した。

撮影：2014.02.02.じゅん菜池：田中直義

RD：—



カモ科：ANATIDAE

022.カワアイサ♀

Mergus merganser Linnaeus,1758

2019 年 1-2 月に国府台(一中下)の江戸川岸辺に飛来した。

撮影：2019.02.02.江戸川：田中直義

RD：—



カイツブリ科：PODICIPEDIDAE

023.カイツブリ

Tachybaptus ruficollis Pallas,1764

毎冬飛来している。

撮影：2016.02.24.じゅん菜池：田中直義

千葉県：C 要保護生物／環境省：—



カイツブリ科：PODICIPEDIDAE

024.カムリカイツブリ

Podiceps cristatus Linnaeus,1758

2019 年 11 月初記録。

撮影：2019.11.27.じゅん菜池：田中直義

千葉県：D 一般保護生物／環境省：—



ハト科：COLUMBIDAE

025.キジバト (ヤマバト)

Streptopelia orientalis Latham,1790

通年観察される。

撮影：2020.01.21.じゅん菜池：田中直義

RD：—



ハト科：COLUMBIDAE

026.アオバト♂

Treron sieboldii Temminck,1835

♂には翼の雨覆羽に赤褐色がある。

撮影：2020.02.13.じゅん菜池：大貫和己

千葉県：B 重要保護生物／環境省：－



ハト科：COLUMBIDAE

026.アオバト♀

Treron sieboldii Temminck,1835

2020年12月に飛来した。

撮影：2020.12.22.じゅん菜池：大貫和己

千葉県：B 重要保護生物／環境省：－



ウ科：PHALACROCORACIDAE

027.カワウ

Phalacrocorax carbo Linnaeus,1758

通年観察される。

撮影：2018.02.04.じゅん菜池：田中直義

RD：－



サギ科：ARDEIDAE

028.ゴイサギ

Nycticorax nycticorax Linnaeus,1758

ほぼ通年観察される。

撮影：2019.02.20.じゅん菜池：田中直義

RD：－



サギ科：ARDEIDAE

029.アオサギ

Ardea cinerea Linnaeus,1758

通年観察される。

撮影：2018.04.06.じゅん菜池：田中直義

RD：－



サギ科：ARDEIDAE

030.ダイサギ(オオダイサギ)

Ardea alba Linnaeus,1758

通年観察されるが夏季に飛来するのは亜種チュウダイサギ *A.a.modesta* の可能性が高い。

撮影：2016.12.30.じゅん菜池：田中直義

千葉県：D 一般保護生物／環境省：－



サギ科：ARDEIDAE

031.チュウサギ

Egretta intermedia intermedia (Wagler,1829)
2018, 08, 01 国分川調整池に飛来。日本には亜種 *E. intermedia intermedia* (Wagler,1829)が飛来する。

撮影：2009.05.24.手賀沼：田中直義
千葉県：B 重要保護生物／環境省：NT 準絶滅危惧



サギ科：ARDEIDAE

032.コサギ

Egretta garzetta Linnaeus,1766
通年観察されているが回数は激減している。

撮影：2015.03.01.じゅん菜池：田中直義
千葉県：B 重要保護生物／環境省：—



クイナ科：RALLIDAE

033.クイナ

Rallus aquaticus indicus Blyth,1849

2010年11月飛来。♂♀同色。
撮影：2010.11.07.じゅん菜池：田中直義
千葉県：X 消息不明・絶滅生物／環境省：—



クイナ科：RALLIDAE

034.ヒクイナ

Porzana fusca (Linnaeus,1766)
国分川調整池や水元公園に時々飛来する。
撮影：2023.01.12.国分川調整池：田中直義

RD：—



クイナ科：RALLIDAE

035.バン

Gallinula chloropus chloropus Linnaeus,1758
時々飛来する。

撮影：2018.03.38.国分川調整池：田中直義
RD：—



クイナ科：RALLIDAE

036.オオバン

Fulica atra Linnaeus,1758
ブルーギルを捕食。2018-2020年に連続して飛来した。

撮影：2021.11.05.じゅん菜池：田中直義
千葉県：C 要保護生物／環境省：—



カッコウ科：CUCULIDAE

037.ツツドリ

Cuculus optatus Gould,1845

2015年9月に飛来した。

撮影：2015.09.24.じゅん菜池：大貫和己

千葉県：C 要保護生物／環境省：－



チドリ科：CHARADRIIDAE

038.タゲリ

Vanellus vanellus (Linnaeus,1758)

矢切の渡し場付近に冬になると時々飛来する。

撮影：2015.01.14.野菊の里浄水場：田中直義

千葉県：D 一般保護生物／環境省：－



チドリ科：CHARADRIIDAE

039.コチドリ

Charadrius dubius Scopoli,1786

春から初夏にかけて時々国分川調整池に飛来する。

撮影：2018.03.25.国分川調整池：田中直義

千葉県：B 重要保護生物／環境省：－



セイタカシギ科：RECURVIROSTRIDAE

040.セイタカシギ

Himantopus himantopus (Linnaeus, 1758)

2021, 09, 08-15. 国分川調整池に若鳥が飛来した。

撮影：2021, 09, 15. 国分川調整池：田中直義

千葉県：A 最重要保護生物／環境省：VU 絶滅危惧 I 類



シギ科：SCOLOPACIDAE

041.タシギ

Gallinago gallinago Linnaeus,1758

2011年2-3月に飛来した。

撮影：2011.03.19.じゅん菜池：田中直義

RD：－



シギ科：SCOLOPACIDAE

042.クサシギ

Tringa ochropus Linnaeus,17588

毎冬に国分川調整池に飛来する。

撮影：2021.01.31.国分川調整池：田中直義

千葉県：C 要保護生物／環境省：－



シギ科：SCOLOPACIDAE

043.タカブシギ

Tringa glareola Linnaeus, 1758

毎冬に国分川調整池に飛来する。

撮影：2021.12.15. 国分川調整池：田中直義

千葉県：B 重要保護生物／環境省：VU 絶滅危惧Ⅱ類



シギ科：SCOLOPACIDAE

044.イソシギ

Actitis hypoleucos (Linnaeus, 1758)

国分川調整池に時々飛来する。

撮影：2021.09.16. 国分川調整池：田中直義

千葉県：A 最重要保護生物／環境省：—



カモメ科：LARIDAE

045.ユリカモメ

Larus ridibundus Linnaeus, 1766

冬になると毎年飛来している。

撮影：2017.02.14. じゅん菜池：田中直義

RD:—



タカ科：ACCIPITRIDAE

046.トビ

Milvus migrans Boddaert, 1783

池の上空を通過したことがある。

撮影：2017.11.07. 鴨川市：田中直義

千葉県：—／環境省：—



タカ科：ACCIPITRIDAE

047.ツミ

Accipiter gularis Temminck & Schlegel, 1844

2015年ころからじゅん菜池周囲の雑木林で毎年繁殖。

撮影：2021.01.29. じゅん菜池：田中直義

RD 千葉県：D 一般保護生物／環境省：—



タカ科：ACCIPITRIDAE

048.オオタカ

Accipiter gentilis Linnaeus, 1758

2022年じゅん菜池斜面林で繁殖活動したが、巣立ちできなかった。2023年には小塚山で繁殖した。

撮影：2012.01.19. じゅん菜池：大貫和己

RD 千葉県：C 要保護生物／環境省：NT 準絶滅危惧



タカ科：ACCIPITRIDAE

049. ノスリ

Buteo buteo Linnaeus, 1758

池の上空を通過したことがある。

撮影：2021.01.31. 国分川調整池：田中直義

RD 千葉県：C 重要保護生物／環境省：—



フクロウ科：STRIGIDAE

050. フクロウ

Strix uralensis Pallas, 1771

暗闇で声はすれども姿はなかなか見えない。

撮影：2016.08.03. 小塚山：中谷利秋

RD 千葉県：B 重要保護生物／環境省：—



フクロウ科：STRIGIDAE

050. フクロウのカギ爪。

Strix uralensis Pallas, 1771

ガッチリした猛禽類の爪。和洋大学構内に落鳥していた。

撮影：2019.23.06. 和洋女子大学構内：坂本玲子

RD 千葉県：B 重要保護生物／環境省：—



カワセミ科：ALCEDINIDAE

051. カワセミ♂(左)♀(右)

Alcedo atthis Linnaeus, 1758

毎年見られる。繁殖期に入ったオスは、メスに小魚をプレゼントしてプロポーズ（求愛給餌）をする。

撮影：2022.03.27. じゅん菜池：大貫和己

RD 千葉県：C 重要保護生物／環境省：—



カワセミ科：ALCEDINIDAE

051. カワセミ：生態系の保全に貢献

ウシガエル（帰化種）のオタマジャクシを捕獲した。

ウシガエル（食用ガエル）は、生態系の被害が大きく、飼育・栽培・保管・運搬・販売・輸入など原則禁止である。

撮影：2016.08.08. じゅん菜池：大貫和己

RD 千葉：C 重要保護生物／環境省：—



キツツキ科：PICIDAE

052. コゲラ♂

Dendrocopos kizuki Temminck, 1836

通年観察される。ほぼ毎年営巣し雛を孵している。

撮影：2017.06.23. じゅん菜池：田中直義

RD：—



キツツキ科：PICIDAE

053.アカゲラ♀

Dendrocopos major Linnaeus, 1758

2015年1月に飛来した。

撮影：2015.01.16.じゅん菜池：田中直義

RD：－



ハヤブサ科：FALCONIDAE

055.チョウゲンボウ

Falco tinnunculus Linnaeus, 1758

国分川調整池に時々飛来する。

撮影：2021.10.25.国分川調整池：田中直義

RD：－



カササギヒタキ科：MONARCHIDAE

055.サンコウチョウ

Terpsiphone atrocaudata atrocaudata Eyton, 1839

2017年9月に飛来した。

撮影：2017.09.15.じゅん菜池：大貫和己

RD 千葉県：A 最重要保護生物／環境省：－



モズ科：LANIIDAE

056.モズ

Lanius bucephalus Temminck & Schlegel, 1845

通年観察される。

撮影：2016.01.25.じゅん菜池：田中直義

RD：－



カラス科：CORVIDAE

057.カケス

Garrulus glandarius Linnaeus, 1758

時々冬に飛来する。

撮影：2020.12.06.じゅん菜池：大貫和己

RD 千葉県：D 一般保護生物／環境省：－



カラス科：CORVIDAE

058.オナガ

Cyanopica cyanus Pallas, 1776

通年観察される。

撮影：2014.04.27.じゅん菜池：田中直義

RD：－



カラス科：CORVIDAE

059.ハシボソガラス

Corvus corone Linnaeus, 1758

通年観察される。

撮影：2020.02.05.じゅん菜池：田中直義

RD：—



カラス科：CORVIDAE

060.ハシブトガラス

Corvus macrorhynchos Wagler, 1827

通年観察される。

撮影：2019.05.17.じゅん菜池：田中直義

RD：—



シジュウカラ科：PARIDAE

061.ヤマガラ

Poecile varius Temminck & Schlegel, 1845

時々観察される。

撮影：2020.01.05.じゅん菜池：田中直義

RD 千葉県：指定解除/環境省：—



シジュウカラ科：PARIDAE

062.ヒガラ

Periparus ater Linnaeus, 1758

ほとんど観察されない。

撮影：2013.03.26.じゅん菜池：田中直義

RD：—



シジュウカラ科：PARIDAE

063.シジュウカラ

Parus minor Temminck & Schlegel, 1848

通年観察され、ほぼ毎年雛を孵している。

撮影：2019.10.27.じゅん菜池：田中直義

RD：—



ヒバリ科：ALAUDIDAE

064.ヒバリ

Alauda arvensis Linnaeus, 1758

江戸川土手において毎年観察できる。

撮影：2021.02.10.松戸市江戸川河川敷：田中直義

RD 千葉県：D 一般保護生物/環境省：—



ツバメ科：HIRUNDINIDAE

065.ツバメ

Hirundo rustica Linnaeus, 1758

毎年見られる。

撮影：2014.06.13.じゅん菜池：田中直義

RD：—



ツバメ科：HIRUNDINIDAE

066.イツツバメ

Delichon dasyptus Bonaparte, 1850

渡りの季節に上空を通過する。

撮影：2014.06.27.北海道定山溪：田中直義

RD 千葉県：D 一般保護生物／環境省：—



ヒヨドリ科：PYCNONOTIDAE

067.ヒヨドリ

Hypsipetes amaurotis Temminck, 1830

通年観察される。

撮影：2018.01.14.じゅん菜池：田中直義

RD：—



ウグイス科：CETTIIDAE

068.ウグイス

Cettia diphone Kittlitz, 1830

通年観察される。

撮影：2016.02.03.じゅん菜池：田中直義

RD：—



エナガ科：AEGITHALIDAE

069.エナガ

Aegithalos caudatus Linnaeus, 1758

通年観察される。

撮影：2015.01.13.じゅん菜池：田中直義

RD：—



メジロ科：ZOSTEROPIDAE

070.メジロ

Zosterops japonicus japonicus Temminck & Schlegel, 1845

通年観察される。おいしそうに蜜を吸っていた。

撮影：2023.02.17.じゅん菜池：田中直義

RD：—



メジロ科：ZOSTEROPIDAE

070.メジロの巣(同定：金子謙一)

庭の掃除で発見。5cm程。シュロなど軟らかい素材で裏打ちされている。

撮影：2023.05.27.北国分(採集：牛島千津子)：宮城直

RD：—



ヨシキリ科：ACROCEPHALIDAE

071.オオヨシキリ

Acrocephalus orientalis (Temminck & Schlegel, 1847)
国分川調整池や江戸川河川敷に毎夏飛来し繁殖している。

撮影：2022,09,15.国分川調整池：田中直義

RD 千葉県：D 一般保護生物／環境省：—



セッカ科：CISTICOLIDAE

072.セッカ

Cisticola juncidis (Rafinesque, 1810)

国分川調整池と江戸川河川敷に毎夏飛来し繁殖している。

撮影：2016,07,01.利根川河口付近：田中直義

RD 千葉県：D 一般保護生物／環境省：—



ミソサザイ科：TROGLODYTIDAE

073.ミソサザイ

Troglodytes troglodytes Linnaeus, 1758

2016年に飛来した。

撮影：2016.02.18.じゅん菜池：大貫和己

RD 千葉県：C 要保護生物／環境省：—



ムクドリ科：STURNIDAE

074.ムクドリ

Spodiopsar cineraceus Temminck, 1835

通年観察される。

撮影：2015.03.22.じゅん菜池：田中直義

RD：—



ヒタキ科：MUSCIC APIDAE

075.トラツグミ

Zoothera dauma (Latham, 1790)

日本で見られるツグミの仲間中で最大種。山地で繁殖し晩秋に平地に移動。しばらくぶりでじゅん菜池にやってきた。

撮影：2023.01.31.じゅん菜池：田中直義

RD 千葉県：B 重要保護生物／環境省：—



ヒタキ科：MUSCICAPIDAE
076.シロハラ
Turdus pallidus Gmelin, 1789
 冬になると毎年飛来している。

撮影：2021.01.11.じゅん菜池：田中直義
 RD：—



ヒタキ科：MUSCICAPIDAE
077.アカハラ
Turdus chrysolaus Temminck, 1832
 山地で繁殖するが、冬になると毎年じゅん菜池にもやってきて春まで滞在する。

撮影：2022.02.08.じゅん菜池：田中直義
 RD：—



ヒタキ科：MUSCICAPIDAE
078.ツグミ♂
Turdus naumanni Temminck, 1820
 冬になると毎年飛来している。

撮影：2017.02.13.じゅん菜池：田中直義
 RD：—



ヒタキ科：MUSCICAPIDAE
079.ルリビタキ♂
Tarsiger cyanurus Pallas, 1773
 冬になるとほぼ毎年飛来している。

撮影：2013.02.09.じゅん菜池：田中直義
 RD：—



ヒタキ科：MUSCICAPIDAE
079.ルリビタキ♀
Tarsiger cyanurus Pallas, 1773
 冬になるとほぼ毎年飛来している。

撮影：2016.01.20.じゅん菜池：田中直義
 RD：—



ヒタキ科：MUSCICAPIDAE
080.ジョウビタキ♂
Phoenicurus aureus Pallas, 1776
 毎冬じゅん菜池にきて春まで滞在する。大陸で繁殖するが最近、国内に繁殖地が見つかった。

撮影：2021.01.14.じゅん菜池：田中直義
 RD：—



ヒタキ科：MUSCICAPIDAE

080. ジョウビタキ♀

Phoenicurus aureus Pallas, 1776

マンホール蓋の隙間から出てくるユスリカを食べているところ。

撮影：2022.01.24.じゅん菜池：田中直義

RD：—



ヒタキ科：MUSCICAPIDAE

081.エゾビタキ

Muscicapa griseisticta (Swinhoe, 1861)

大陸で繁殖し東南アジアで越冬する途中に日本を通過する。アカメガシワの実を食べる。

撮影：2022.10.18.じゅん菜池：田中直義

RD：—



ヒタキ科：MUSCICAPIDAE

082 サメビタキ

Muscicapa sibirica Gmelin, 1789

2014年10月19日に観察。

撮影：2014.10.19.じゅん菜池：田中直義

RD：—



ヒタキ科：MUSCICAPIDAE

084.キビタキ♂

Ficedula narcissina Temminck, 1836

近年観察される。アカメガシワの実を食べる。

撮影：2022.10.14.じゅん菜池：田中直義

RD 千葉県：A 最重要保護生物／環境省：—



ヒタキ科：MUSCICAPIDAE

083.キビタキ♀

Ficedula narcissina Temminck, 1836

山地で繁殖し東南アジアで越冬する途中に飛来する。

撮影：2022.10.14.じゅん菜池：田中直義

RD 千葉県：A 最重要保護生物／環境省：—



ヒタキ科：MUSCICAPIDAE

084.オジロビタキ

Ficedula albicilla Pallas, 1811

約30年前に小塚山に飛来したことがある。

撮影：2018.02.07.水元公園：田中直義

RD：—



ヒタキ科：MUSCICAPIDAE

085.オオルリみ：幼鳥

Cyanoptila cyanomelana (Temminck, 1829)

2020年10月に飛来した。

撮影：2020.10.11.じゅん菜池：大貫和己

RD 千葉県：B 重要保護生物／環境省：—



スズメ科：PASSERIDAE

086.スズメ

Passer montanus Linnaeus, 1758

住宅地で通年観察されるがじゅん菜池緑地内では少ない。

撮影：2019.07.08.じゅん菜池：田中直義

RD：—



セキレイ科：MOTACILLIDAE

087.キセキレイ

Motacilla cinerea Tunstall, 1771

冬季に時々飛来する。

撮影：2018.01.19.じゅん菜池：田中直義

RD 千葉県：B 重要保護生物／環境省：—



セキレイ科：MOTACILLIDAE

088.ハクセキレイ

Motacilla alba Linnaeus, 1758

冬季に毎年観察される。

撮影：2015.11.16.じゅん菜池：田中直義

RD：—



セキレイ科：MOTACILLIDAE

089.セグロセキレイ

Motacilla grandis Sharpe, 1885

国分川調整池では冬季ほぼ毎年見られる。

撮影：2021.12.04.国分川調整池：田中直義

RD：—



セキレイ科：MOTACILLIDAE

090.タヒバリ

Anthus rubescens (Tunstall, 1771)

国分川調整池ではほぼ毎年見られる。

撮影：2022.01.10.国分川調整池：田中直義

RD：—



アトリ科：FRINGILLIDAE
091.アトリみ(左)♀(右)
Fringilla montifringilla Linnaeus, 1758
 2016年冬～2017年春にかけて多数が観察された。
 撮影：2017.01.29.じゅん菜池：田中直義。

RD：—



アトリ科：FRINGILLIDAE
092.カワラヒワ
Chloris sinica Linnaeus, 1766
 時々観察される。
 撮影：2018.02.07.水元公園：田中直義。

RD：—



アトリ科：FRINGILLIDAE
093.ウソ
Pyrrhula pyrrhula Linnaeus, 1758
 ほとんど観察されない。
 撮影：2013.01.13.じゅん菜池：田中直義

RD：—



アトリ科：FRINGILLIDAE
094.シメ
Coccothraustes coccothraustes Linnaeus, 1758
 冬季に毎年観察される。
 撮影：2017.02.24.じゅん菜池：田中直義

RD：—



ホオジロ科：EMBERIZIDAE
095.ホオジロみ
Emberiza cioides Brandt, 1843
 里見公園近くの江戸川河川敷では毎年見られる。
 撮影：2014.05.02.江戸川土手・里見公園下：田中直義
 RD 千葉県：C 要保護生物／環境省：—



ホオジロ科：EMBERIZIDAE
096.カシラダカ
Emberiza rustica Pallas, 1776
 冬になると国分川調整池に時々飛来する。
 撮影：2011.01.09.国分川調整池：田中直義
 RD：—



ホオジロ科：EMBERIZIDAE

097.アオジミ(左)♀(右)

Emberiza spodocephala Pallas, 1776

春になり、繁殖のために山へ帰る直前のみと♀(右上)。斜面林に沿った遊歩道の上で盛んに食事していた。

撮影：2023.03.29.じゅん菜池：田中直義

RD：—



ホオジロ科：EMBERIZIDAE

098.オオジュリン

Emberiza schoeniclus (Linnaeus, 1758)

毎年冬になると国分川調整池に飛来する。

撮影：2021.01.31.国分川調整池：田中直義

RD 千葉県：D 一般保護生物／環境省：—

・・・・・・その他周辺で記録された鳥・・・・・・

- オオヒシクイ：2006年1月下矢切の江戸川河川敷に飛来。
- カワラバト(ドバト)：移入種：市街地に多い。
- ホトトギス：2014年6月42014年6月4&5日に声。
- ヨタカ：近年の記録はない。
- アオバズク：青葉の頃、真間小や矢切で鳴き声が聞こえる。
- ヤマセミ：2011年3月に飛来した。
- アリスイ：江戸川河川敷で時々見られる。
- コアカゲラ：飛来した記録がある。
- ハヤブサ：国分川調整池で2019年に観察された。
- ヤイロチョウ：2011年3月に記録されている。
- ククイタダキ：里見公園で冬季に時々観察される。
- ヤブサメ：2002年に観察されている。
- センダイムシクイ：2020年4月に飛来した。



撮影：2023.01.20.じゅん菜池：徳永美澄

・・・・豊かな自然と生命の循環が地球を支える・・・・